

九州ネット



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド） 令和5年7月12日（土）ハイブリッドにて開催

新型コロナウイルス感染症が5類に移行して、ようやく対面での開催ができるようになりました。今回は、県外からの先生方も参加していただき、桜島を一望できる鹿児島県庁の会議室にて開催いたしました。桜島に負けないような、熱い議論で、今回も充実した研究会となりました。

1 トピックス：「知識・技能におけるルーブリックの検討」

（桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊）

「知識・技能におけるルーブリックの検討」について、まず、ルーブリックの基本的な考え方を説明していただきました。コンピテンシーという考え方・学習評価の構図・標準化によらないパフォーマンス評価・目標となる一般的能力の抽出とレベル化を詳しく解説していただき、ルーブリックとはなにかについて深く考える機会になりました。次に、体育の学習評価とルーブリックの例について解説していただきました。観点別評価の意義と役割、体育学習の「わかる」と「できる」の関係性を検討し、学習指導要領の解説を用いてルーブリックを作成していく具体的な方法について御教示していただきました。

知識・技能の学習評価について、体育ではパフォーマンスは、身体能力+体力+技能であり、単元（数時間）で身につくことはなにかを考え、保健では、配当時間内で獲得可能な技能とは何かを考え、児童・生徒、教師、保護者の三者が納得のいく合算を検討していく必要があるとのこと、大変勉強になりました。



2 グループワーク：「ルーブリック検討シートの作成」

最初に、桐蔭横浜大学佐藤先生から判断の際の「学びの姿」についての紹介、また、グループワークの進め方についての説明をしていただきました。

次に、グループごとにルーブリック検討シート（学年・領域）を作成しました。ワークシートの内容は次のとおりです。

- ① 校種、領域、例示を選択する
- ② 運動課題のキーワードの洗い出し
- ③ 状況（概ね満足、十分満足等）における、判断の目安、

具体的な事例のイメージ、条件や手立てについてグループで検討する。

最後に、各グループのワークシートの内容を共有することで、新たな気づきやヒントを得ることができました。状況に応じて児童・生徒の具体的なイメージを設定することがとても難しかったですが、グループでの協議で少しずつ納得できる、成果物が作成できました。



3 おわりに

今回の鹿児島黒豚ラウンドでは、計18人（zoomを含む）が県内外から一堂に会して、主に体育・保健体育の学習評価について学ぶことができました。今回も、御多用にも関わらず、御指導くださいました佐藤先生、準備等でお世話になりました梶先生をはじめ、遠方からwebで参加してくださった先生方、参加してくださったすべての先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。また、報告が大変遅くなったことを深くお詫びいたします。

（報告者：鹿児島県教育庁保健体育課 谷口）